

動 向 調 査

平成29年10月～12月期

●調査依頼5,261社 ●有効回答企業793社

信用保証をご利用いただいている皆さまの景況・金融動向を把握するために、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「信用保証利用企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。ここでは東京都内信用保証利用企業の平成29年10月～12月期の調査結果についてお知らせします。

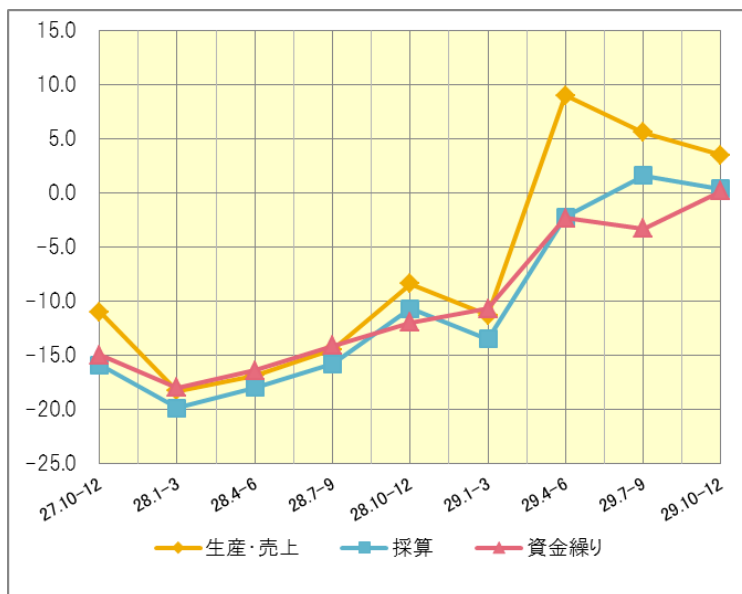
景気動向指数DIとは

景気動向指数DIとは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節調整値」を利用しています。この季節調整値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

[概 況]

景況感是一部弱い動きがみられるものの、
都内信用保証利用企業の資金繰りはやや改善がみられる

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



◎総合

今期(平成29年10月～12月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比-2.1ポイントの3.5とやや悪化した。「採算」も前期比-1.2ポイントの0.4とやや悪化した。「資金繰り」は前期比+3.5ポイントの0.2とやや改善し、すべての項目でプラス値での着地となった。

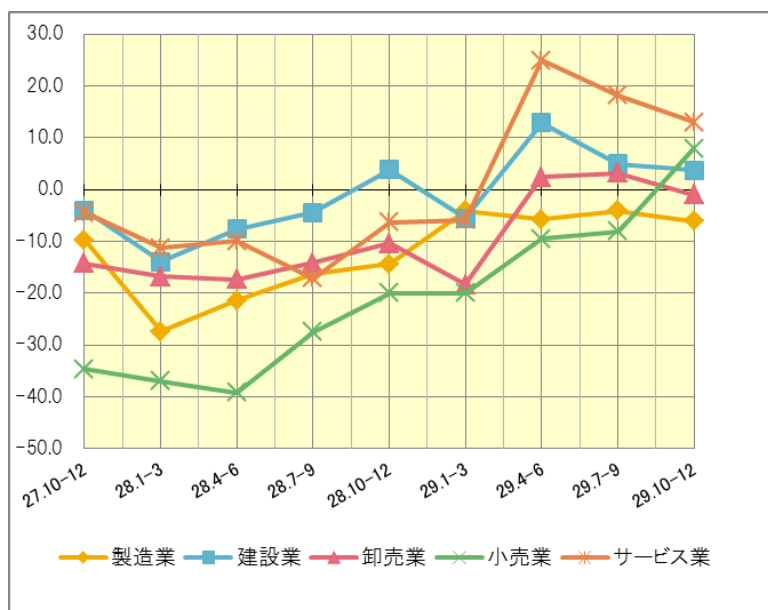
今後3か月の予測値(来期予測)は、「生産・売上」で24.2、「採算」は18.3、「資金繰り」は8.5といずれもプラス値の予測となっている。

「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測値	17.7	11.5	2.1
今期実績	3.5	0.4	0.2
来期予測	24.2	18.3	8.5

●生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上 DI(総合値)は 3.5(前期比-2.1 ポイント)とやや悪化した。

業種別では、小売業が前期比+16.0 ポイントの 7.9 と大幅に改善し、プラス値に転じての着地となった。一方で、サービス業が 2 期連続での悪化となる 13.0(前期比-5.2)で着地したほか、その他の業種でも前期に比べてやや悪化がみられた。

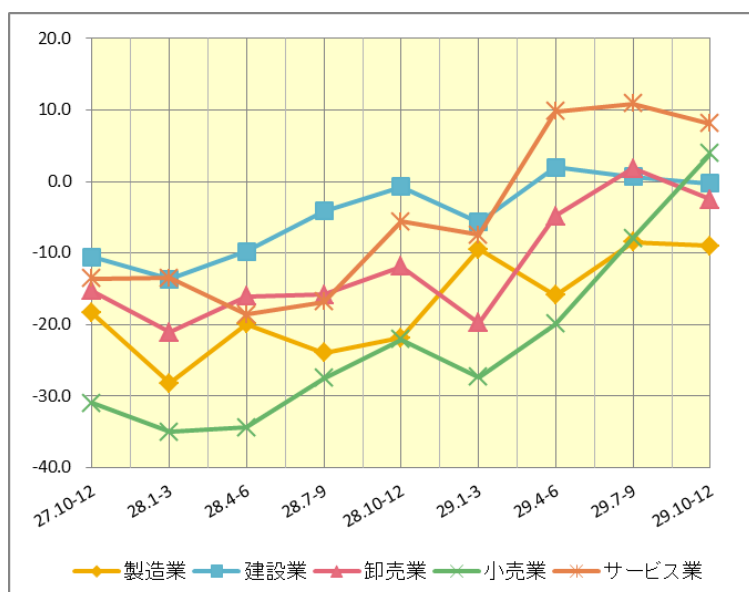
来期は全業種でプラス値の予測であり、いずれの業種においても今期より改善を見込んでいる。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	7.0	19.9	20.2	7.7	24.8	17.7
今期実績	-6.1	3.7	-1.0	7.9	13.0	3.5
来期予測	10.7	24.5	25.1	23.4	32.0	24.2

●採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算 DI(総合値)は 0.4(前期比-1.2 ポイント)にやや悪化した。

業種別では、小売業(3.9(前期比+11.8 ポイント))が 3 期連続で大幅に改善しプラス値に転じた。一方で、卸売業(▲2.5(前期比-4.3 ポイント))、サービス業(8.1(前期比-2.8 ポイント))はやや悪化となった。

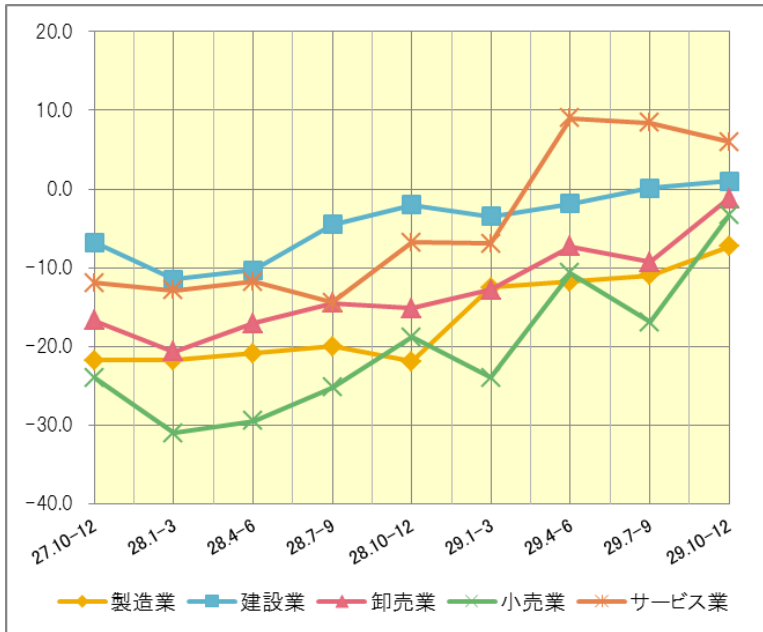
来期は全業種でプラス値の予測であり、いずれの業種においても今期より改善を見込んでいる。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	0.5	6.6	16.2	1.9	21.9	11.5
今期実績	-9.0	-0.3	-2.5	3.9	8.1	0.4
来期予測	2.2	20.1	20.2	19.0	25.3	18.3

●資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰り DI(総合値)は 0.2(前期比 +3.5 ポイント)と、前期からやや改善した。

業種別では、小売業(▲3.3(前期比+13.6 ポイント))の大幅な改善が目立ったほか、卸売業も▲1.2(前期比+8.1 ポイント)と改善がみられた。建設業は3期連続での改善となり、プラス値に転じての着地となった。

来期は、製造業を除くすべての業種で改善し、プラス値で着地の見込みとなっている

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-5.0	-2.3	-0.9	-5.8	15.7	2.1
今期実績	-7.3	1.0	-1.2	-3.3	6.0	0.2
来期予測	-11.2	6.1	13.1	8.9	17.7	8.5